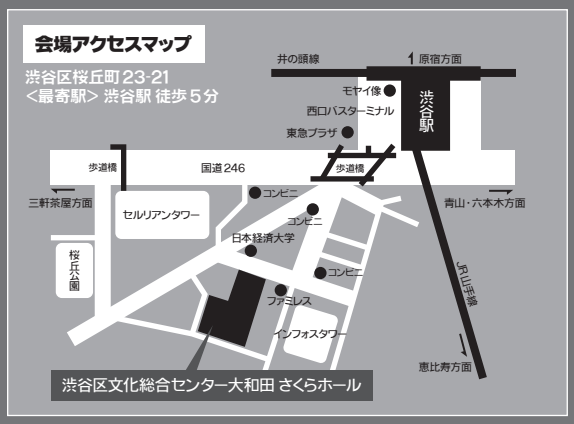
献金先のご紹介

日本聾話学校　Nippon Rowa Gakko (Japan Oral School for the Deaf)

日本聾話学校は日本で唯一のキリスト教精神による私立聾学校です。子ども達はデジタル補聴器や人工内耳によって、残された聴力を最大限に活用し、心からの対話を重視した『聴覚主導の人間教育』を受けています。これにより子ども達をそれぞれ、明るく・やさしく・たくましく、そして本当に賢い人間（しっかりした人間）に育てています。昨年本校は創立90周年を迎え、この90周年を記念し、幼児・児童の安全と教育の更なる充実のために、懸案となっている校舎の耐震改修工事を実施いたしました。皆様のご支援心より感謝申しあげます。



プロフィール

青木 洋也（Hiroya AOKI）：指揮／アルト

photo by 篠原栄治

東京藝術大学大学院修士課程古楽科修了。エリザベト音楽大学大学院宗教音楽学専攻修了。古楽アンサンブルや演奏会ソリストとして活躍する一方、アイルランド・ダブリンやドイツ・ライプツィヒ等でアルト・ソロをつとめるなど活躍の場を広げている。2007年アイルランド・ダブリンにおいて日本・アイルランド外交関係樹立50周年事業の『メサイア』演奏会（P. オドウィン指揮）のアルトソロを歌い大好評を得る。バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演・録音に参加。近年は合唱指揮者としても高く評価されている。

2005年、東京スコラ・カントールムの現職に就任。「バッハ・コレギウム・ジャパン」「ヴォーカル・アンサンブルカペラ」「フィルハーモニーカンマーアンサンブル」「BLESS B QUINTET」「アンサンブル小瑠璃」メンバー。「早稲田大学・日本女子大学室内合唱団」「エルヴィオ・ソーヌス」「ヨハネス・カントーレス」「カルド・ムジカ」「ノヴァ・ヴォーチェ」常任指揮者。「東京スコラ・カントールム」「オルフ祝祭合唱団」「JVC合唱団」「IJCC合唱団」合唱指揮者。「東京少年少女合唱隊」特任指揮者。「パーセル・プロジェクト」代表。日本キリスト教団聖ヶ丘教会員。日本リードオルガン協会会員。

藤崎 美苗（Minae FUJISAKI）：ソプラノ

岩手大学、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院独唱課程修了、同大学院古楽科に学ぶ。第10回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位入賞。宗教曲や歌曲を中心に活躍している。これまでに J. S. バッハの教会カンタータ、受難曲、ミサ曲、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』などのソロを務める。またバッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして演奏・録音に参加している。京葉混声合唱団、声楽 アンサンブル「TRUMP」指揮者。

石川 洋人（Hiroto ISHIKAWA）：テノール

7歳より静岡児童合唱団に入団。ソリストとして3回のヨーロッパ演奏旅行に参加。国立音楽大学声楽科卒業。スイスバーゼル音楽大学大学院、及びスコラカントールムに留学。ディプロム取得。在学中よりヨーロッパ各地でコンサート、音楽祭出演。M.コルボ、M.ラドレスク、A.ルーリー、J. リフキン等著名な音楽家とも共演、いずれも好評を博す。帰国後、バッハ・コレギウム・ジャパン等に参加の他、NHK・FM名曲リサイタル、同BSクラシック倶楽部出演など、ソリスト及びアンサンブル歌手として国内外で活躍している。アンサンブル小瑠璃メンバー。

磯辺 絢子（Ayako ISOBE）：ソプラノ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。敦賀での「げんでんふれあいコンサート 2006～オペラ魔笛」童子1、「ディドとエネアス」ベリンダ、「アーサー王」女羊飼い、セイレーン、海の神ネレイスで出演の他、コンサート形式オペラにて「フィガロの結婚」スザンナ、「コシ ファン トゥッテ」デスピーナを演じる。宗教曲ではメサイアのソリストを務める。また小澤征爾音楽塾の合唱団において、コーラスとして参加。寺谷千枝子、永井和子の各氏に師事。

加来 徹（Toru KAKU）：バリトン

福岡県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院を首席で修了。大学院アカンサス賞、武藤舞奨学金を受賞。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。併せて日本歌曲賞、日本R. シュトラウス協会賞を受賞。第58回藝大メサイアのソリストを務め、藝大関係では《天地創造》《楽園とペリ》《台東区第九》等ソリストの他、マーラー《亡き子を偲ぶ歌》ソロを務める。宗教曲を始めとし、世界各国の歌曲演奏に力を注いでいる。

HTTP://WWW.KAKU-TORU.NET/

合　唱：東京スコラ・カントールム（Schola Cantorum, Tokyo）

東京スコラ・カントールムは1979年に創立され、チャリティーコンサートを通じてグレゴリオ聖歌から現代まで様々な教会音楽の演奏活動を続けております。演奏は作曲者の意図、精神的・時代的背景などの伝統を重んじ、学びながら、教会音楽の持つ美しさ、深さを現代人として生き生きと表現してゆく充実感を沢山の方々と共有して行きたいと考えています。これまでには社会福祉活動として、キリスト教系を中心に様々な社会福祉団体や国際支援活動、教育機関などに献金させていただき、23団体に対し献金総額は約4000万円となりました。今回の演奏会を通じて皆さまのご協力をお願い申し上げます。

www2.gol.com/users/schola/top.htm